

大分市歴史資料館

OITA CITY HISTORICAL MUSEUM

ニュース

vol.
107
2014.7.12

大分市歴史資料館
テーマ展示Ⅱ

化けた! 出た! 道具のおばけ

7月12日(土)~9月28日(日)



百器夜行絵巻「手箕のおばけ」
(兵庫県立歴史博物館蔵)

付喪神絵詞
(京都市立芸術大学芸術資料館蔵)

化けた! 出た! 道具のおばけ



会期：2014年7月12日(土)～9月28日(日)

おばけときいて、みなさんは何を思い浮かべますか？多くの人は、妖怪や幽霊といったものを思い浮かべるのではないのでしょうか。おばけは、怖いような、面白いような、得体のしれない存在です。いろんなおばけがいる中で、少し変わったおばけがいることをご存じですか？それは道具のおばけです。

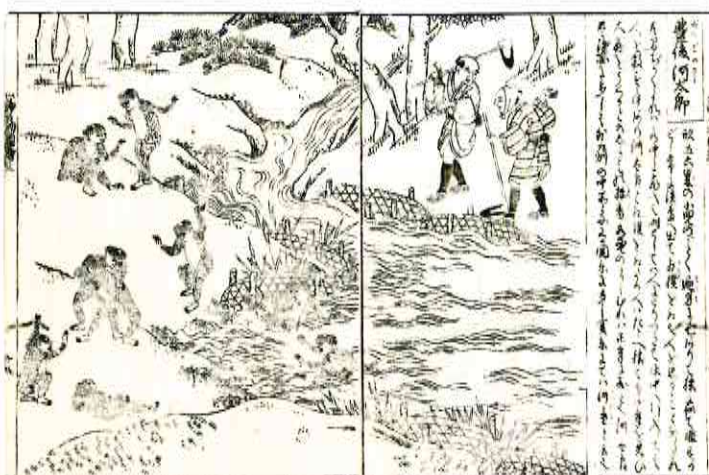
道具がなぜおばけになってしまうのか、その理由を通して、私たちと身近な道具の関わりを考えてみませんか？

I イメージされたおばけ

私たちはおばけというと、さまざまなおばけを思い浮かべます。では、昔の人びとは一体どんなおばけを想像していたのでしょうか。

私たちにとってなじみの深いおばけの一つに、河童があげられるでしょう。『日本山海名物図会』という本には、大分の

河童が「豊後河太郎」として紹介されています。この本は、江戸時代に平瀬徹斎によって著されたもので、日本各地における名物や、名産の作り方を図示、解説したものです。大分に現れたという河童は、五・六歳の子どもの姿で、全身毛むくじゃら、猿に似ているのだと書かれており、私たちが想像する「背に甲羅、全身緑色」の河童とは異なった容貌をしていたようです。また、本には河童の性質についても記されています。河童は、人を恐れず相撲を取ろうと誘ったりする愛嬌のある一面もあれば、時には川の中に人を引きずり込んで殺してしまう恐ろしい部分も併せ持っていたようです。



『日本山海名物図会』巻ノ三「豊後河太郎」(当館蔵)

II 百鬼夜行する道具たち

おばけの中でも、年を経た道具が霊力を宿して化けた「つくも神」というおばけがいます。

大事に使われなかったり、まだ使えるのに捨てられてしまった道具は、つくも神というおばけになって、夜な夜なまちを練り歩き、人間たちを驚かせます。その様子を百鬼夜行といい、室町時代以降、これを題材にした絵巻物が数多く描かれてきました。

驚くべきことに、描かれているつくも神は、最近まで使われていた道具がモチーフになっているのです。例えば、ご飯を炊く羽釜や、米や麦、大豆をすりつぶして粉にする石臼などは、おばけの絵とくらべてもほとんど形が変わっていません。道具には、生活の進歩に合わせて形を変えていくものがある一方、上記の道具のように長い歴史の中で、変わらない姿で私たちの生活を支えてきたものもあったのです。



行火(当館蔵)



行火のおばけ
(['百器夜行絵巻』兵庫県立歴史博物館蔵)



石臼(当館蔵)



石臼のおばけ
(['百器夜行絵巻』兵庫県立歴史博物館蔵)



羽釜(当館蔵)



羽釜のおばけ
(['百鬼夜行絵巻』国際日本文化研究センター蔵)

もっとおばけが見たい人は...

臼杵市歴史資料館三二企画展
「うすき妖怪図会」

臼杵藩旧蔵の古書籍から、妖怪や怪異にまつわる「当世化け物大評判」や「続百鬼」などの書物資料を展示します。
場所：臼杵市歴史資料館 第1室
会期：7月30日(水)～9月1日(月)
備考：8月14～16日(木～土)は夜間特別開館開催。
詳細は臼杵市歴史資料館ホームページへ。
(<http://www.city.usuki.oita.jp/docs/2014033100024/>)

III 道具が化けるようになったわけ

室町時代につくも神が多く描かれるようになったのは、この時代、道具が大量に生産されるようになったことと関係があると考えられています。その背景には多種多様な職人の誕生があり、『職人絵尽くし』や『七十一番職人歌合』には、土器作や挽入(ろくろ細工)売など、当時の職人の姿が描かれています。また、戦国時代の太田家の年中行事の様子を記した『當家年中作法日記』にも塗師御作や桶結御作、土器作の事が記されており、豊後府内のまちにもさまざまな職人がいたことが窺えます。

こうした職人たちの活躍によって、道具が大量に生産されるようになり、庶民の暮らしの中にも道具が普及し、生活が向上していきました。しかし、その反面、道具を粗末に扱うようになり、壊れたら捨てるということも多くありました。そうした道具を粗末にしてしまう世相を反映して、道具がおばけになっていったのです。



分銅のおばけ
(['百器夜行絵巻』兵庫県立歴史博物館蔵)



出土した分銅(当館蔵)



「七十一番職人歌合」(当館蔵)



『職人絵尽くし』(当館蔵)



出土した漆器椀
(大分市埋蔵文化財保存活用センター蔵)

IV 現代のつくも神のゆくえ

つくも神は、人間と道具との密接な関わりを象徴する日本独特の考え方です。道具を大量に消費し、増え続けるゴミが社会問題になっている今、捨てられた道具は、もしかするとつくも神に化けてしまうかもしれません。どんな道具が化けるのか、暮らしの中の道具との関わりを考えるきっかけになれば幸いです。



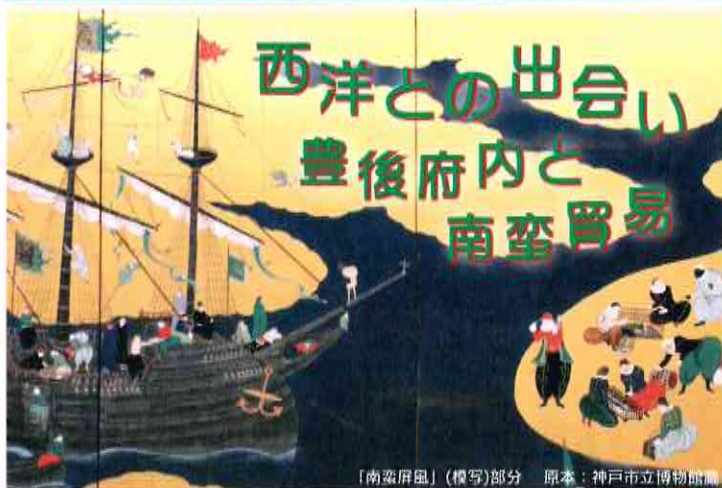
捨てられた道具(西部清掃事業所提供)

表紙紹介

表紙は、「付喪神絵詞」(京都市立芸術大学芸術資料館)に描かれた捨てられている道具と、「百器夜行絵巻」(兵庫県立歴史博物館蔵)の眞のおばけの絵です。道具は、当館所蔵の眞です。眞は脱穀した穀物と殻を選別したり、運搬に用いる道具で、農作業に欠かせない身近なものでした。

臼杵藩旧蔵の古書籍から、妖怪や怪異にまつわる「当世化け物大評判」や「続百鬼」などの書物資料を展示します。
場所：臼杵市歴史資料館 第1室
会期：7月30日(水)～9月1日(月)
備考：8月14～16日(木～土)は夜間特別開館開催。
詳細は臼杵市歴史資料館ホームページへ。
(<http://www.city.usuki.oita.jp/docs/2014033100024/>)

勝光寺/トラディスカント壺 9年ぶりに当館にて公開



「南蛮屏風」(模写)部分 原本：神戸市立博物館

府内と呼ばれていた大分市に初めて西洋人が訪れたのは、1545年大友宗麟が16歳の時でした。1551年には、ポルトガル船が府内の港に直接入港しました。この時宗麟は、山口に滞在していたフランシスコ・ザビエルを招き、領内での布教を許可しました。以後、府内ではポルトガルとの貿易「南蛮貿易」が始まり、教会が建てられるなど西洋文化が華開きました。

本特集展示では、西洋に輸出された南蛮漆器や輸入された陶磁器などの交易品、交易の様子が描かれた南蛮屏風、交易の中で伝わった日本の情報をもとに作成された古地図などの資料を通して、当時盛んに行われた南蛮貿易の様子を紹介します。

また、大友氏との関わりの深い勝光寺(大分市竹中)に代々伝わってきた市指定有形文化財の華南三彩貼花文五耳壺(トラディスカント壺)も、当館では9年ぶりに展示します。この機会にぜひご覧ください。



華南三彩貼花文五耳壺(トラディスカント壺)
勝光寺蔵 当館寄託



鯨皮貼螺鈿洋櫃



テイセラ日本図

利用案内

■開館時間 9時から17時(入館は16時30分まで)
■休館日 月曜日 但し祝日の場合は開館

但し第1月曜日は開館し、翌火曜日が休館日
祝日の翌日 但し土・日曜の場合は開館
年末年始 12月28日～1月4日

■観覧料 大人200円(団体150円) 高校生100円(団体50円)
中学生以下 無料 ※団体は20名以上

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介護者は無料。
◎入館時に受付で手帳を提示してください。



■交通機関 JR久大本線 豊後国分駅下車 徒歩2分
大分バス[国分新町ゆき] 歴史資料館入口下車 徒歩5分
大分自動車道 大分I.C・光吉I.Cよりともに約15分



発行日：平成26年7月12日

発行：大分市歴史資料館 〒870-0864 大分市大字国分960-1 Tel097-549-0880 Fax097-549-5766

※大分市ホームページの「観光・魅力」歴史・文化財「歴史・文化を学ぶ」大分市歴史資料館も併せてご覧ください。

(<http://www.city.oita.oita.jp/>)

ふれあい歴史体験講座

■定員 各回70名程度(先着順)

■時間 午前の部 9時30分～(約2時間)
午後の部 14時00分～(約2時間)



	実施日	内容	材料費	受付開始日
第7回	8月16日(土)	土偶作り	180円	7月18日(金)
第8回	8月23日(土)	粘土はにわ作り	230円	8月6日(水)
第9回	9月6日(土)	管玉・丸玉作り	260円	8月19日(火)
第10回	9月20日(土)	土の鈴作り	60円	9月5日(金)
第11回	10月11日(土)	勾玉作り	200円	9月19日(金)
第12回	11月8日(土)	かご編み	430円	10月17日(金)
第13回	12月6日(土)	和風作り	200円	11月20日(木)

■応募 上記の受付開始日より、電話にて応募ください。
(大分市歴史資料館：097-549-0880)

勾玉作り教室

■内容 夏休み中の2日間と11月の2日間に、歴史資料館で1番人気の勾玉が予約なしで作れます。時間内であれば何度でもチャレンジできます。

■実施日 第1回 8月2日(土) 9時～11時と13時～15時
第2回 8月3日(日) ※時間内に随時受付可。
第3回 11月22日(土) (制作時間：1時間30分程度)
第4回 11月23日(日)

■準備物 材料費 200円

マスク・ビニール袋(着色用2枚)
ぞうきんまたは古タオル、ビニール袋(粉入れ用1枚)

テーマ展示解説講座

■内容 講座室でテーマ展示Ⅱ「化けた！出た！道具のおばけ」について、スライドなどで解説した後、展示会場を案内します。

■日時 8月10日(日) 14時～15時30分

■参加費 無料 ※事前の申し込みは必要ありません。

★上記の各講座等の参加者は観覧料が無料になります。